

電原設第26号

令和5年7月21日

原子力規制委員会 殿

経済産業大臣

西村康稔 殿

広島県広島市中区小町4番33号

中国電力株式会社

代表取締役社長執行役員 中川賢剛

工事計画認可申請書の一部補正について

令和5年6月22日付け電原設第7号をもって申請しました工事計画認可申請書について、別紙のとおり一部補正いたします。

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

別 紙

目 次

1. 補正項目
2. 補正を必要とする理由を記載した書類
3. 補正前後比較表
4. 補正内容を反映した書類

1. 補正項目

補正項目は下表のとおり

補正項目	補正箇所
<p>I 工事計画書</p> <p>原子炉冷却系統設備</p> <p>5. 残留熱除去設備</p> <p>5.1 残留熱除去系</p> <p>7. 原子炉冷却材補給設備</p> <p>7.1 原子炉隔離時冷却系</p> <p>原子炉格納施設</p> <p>3. 圧力低減設備その他の安全設備</p> <p>(8) 原子炉格納容器調気設備</p> <p>(8.1) 窒素ガス制御系</p> <p>III 変更を必要とする理由を記載した書類</p> <p>IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類</p>	<p>「3. 補正前後比較表」による。</p> <p>「3. 補正前後比較表」による。</p> <p>「3. 補正前後比較表」による。</p> <p>「3. 補正前後比較表」による。</p> <p>「3. 補正前後比較表」による。</p>

2. 補正を必要とする理由を記載した書類

補正を必要とする理由

令和5年6月22日付け電原設第7号をもって申請した工事計画認可申請書について、記載の適正化及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の規定に基づき認可の申請をした設計及び工事の計画を一部補正することに伴い、「Ⅰ 工事計画書」、「Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類」、及び「Ⅳ 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類」を補正する。

3. 補正前後比較表

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

変更前		変更後		備考									
名	称名	最大使用圧力 (MPa)	最大使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚 (mm)	材質	名	称名	最大使用圧力 (MPa)	最大使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚 (mm)	材質
	B-停止時冷却モード入口ライン合流部	1.37 ^{*)}	185	517.6	14.3 ^{*)}	SM41C		B-停止時冷却モード入口ライン合流部					
	~ B-残留熱除去ポンプ ^{*)}			508.0	9.5 ^{*)}	SM41C		~ B-残留熱除去ポンプ ^{*)}					
	~ B-残留熱除去ポンプ			508.0 ^{*)}	9.5 ^{*)}	STPT12 ^{*)}		~ B-残留熱除去ポンプ					
	~ 残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部 ^{*)}	3.92 ^{*)}	185	355.6	15.1 ^{*)}	STS42		~ 残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部 ^{*)}					
	~ 残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部			355.6 ^{*)}	19.0 ^{*)}	STS42		~ 残留熱代替除去ポンプ注水ライン合流部					
	~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ^{*)}	3.92 ^{*)}	185	355.6	15.1 ^{*)}	STS42		~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ^{*)}					
	~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部			355.6 ^{*)}	15.1 ^{*)}	STS42		~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部					
	~ B-残留熱除去系熱交換器			355.6 ^{*)}	19.0 ^{*)}	STS42		~ B-残留熱除去系熱交換器					
	~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ^{*)}	3.92 ^{*)}	185	355.6	15.1 ^{*)}	STS42		~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部 ^{*)}					
	~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部			355.6 ^{*)}	19.0 ^{*)}	STS42		~ B-残留熱除去系熱交換器バイパスライン合流部					
	~ B-低圧注水ライン分岐部 ^{*)}	3.92 ^{*)}	185	355.6	15.1 ^{*)}	STS42		~ B-低圧注水ライン分岐部 ^{*)}					
	~ B-低圧注水ライン分岐部			355.6 ^{*)}	19.0 ^{*)}	STS42		~ B-低圧注水ライン分岐部					

13

申請範囲の適正化

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

変更前		変更後		補正前		補正後		備考					
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	名	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	
残留熱除去系	低圧原子炉代替注水系 (可搬型) 接続口 (西) 注水ライン合流部 ~ 原子炉圧力容器 ^{*27}	3.32 ^{*3}	185	355.6 / 355.6 / -	19.0 ^{*1} / 19.0 ^{*1} / -	STS42	低圧原子炉代替注水系 (可搬型) 接続口 (西) 注水ライン合流部 ~ 原子炉圧力容器 ^{*28}	変更なし	変更なし	355.6 ^{*6} / 355.6 ^{*6} / 216.3 ^{*6}	19.0 ^{*6} / 19.0 ^{*6} / 12.7 ^{*6}	変更なし	
		8.62 ^{*3}	302	267.4 / 267.4	15.1 ^{*1} / 15.1 ^{*1}	STS42		変更なし	304 ^{*17}	変更なし			
		0.427	104	508.0 / 508.0	15.1 ^{*1} / 15.1 ^{*1}	STS42		変更なし	変更なし	変更なし			
	C-残留熱除去系ストレーナ	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{*29}	0.427 ^{*3}		508.0 / 508.0	9.5 ^{*1} / 9.5 ^{*1}	SM11C	C-残留熱除去系ストレーナ ~ 高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{*29}	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			1.37 ^{*3}	100	508.0 / 517.6	9.5 ^{*1} / 14.3 ^{*1}	SM11C		変更なし	120 ^{*17}	変更なし		
			1.37 ^{*3}	100	517.6 / 508.0	14.3 ^{*1} / 9.5 ^{*1}	SM11C		変更なし	116 ^{*17}	変更なし		

申請範囲の適正化

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前		補正後		備考																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>称</th> <th>名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>最高使用圧力 (MPa)</td> <td>最高使用圧力 (MPa)</td> <td>最高使用圧力 (MPa)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最高使用温度 (°C)</td> <td>最高使用温度 (°C)</td> <td>最高使用温度 (°C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外径 (mm)</td> <td>外径 (mm)</td> <td>外径 (mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁厚 (mm)</td> <td>壁厚 (mm)</td> <td>壁厚 (mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材質</td> <td>材質</td> <td>材質</td> </tr> </tbody> </table>		変更前		変更後		名	称	称	名		最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)		外径 (mm)	外径 (mm)	外径 (mm)		壁厚 (mm)	壁厚 (mm)	壁厚 (mm)		材質	材質	材質	<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>最高使用圧力 (MPa)</td> <td>最高使用圧力 (MPa)</td> <td>最高使用圧力 (MPa)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最高使用温度 (°C)</td> <td>最高使用温度 (°C)</td> <td>最高使用温度 (°C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外径 (mm)</td> <td>外径 (mm)</td> <td>外径 (mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁厚 (mm)</td> <td>壁厚 (mm)</td> <td>壁厚 (mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材質</td> <td>材質</td> <td>材質</td> </tr> </tbody> </table>			最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)		外径 (mm)	外径 (mm)	外径 (mm)		壁厚 (mm)	壁厚 (mm)	壁厚 (mm)		材質	材質	材質	<p>申請範囲の適正化</p>
変更前		変更後																																																		
名	称	称	名																																																	
	最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)																																																	
	最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)																																																	
	外径 (mm)	外径 (mm)	外径 (mm)																																																	
	壁厚 (mm)	壁厚 (mm)	壁厚 (mm)																																																	
	材質	材質	材質																																																	
	最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)																																																	
	最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)	最高使用温度 (°C)																																																	
	外径 (mm)	外径 (mm)	外径 (mm)																																																	
	壁厚 (mm)	壁厚 (mm)	壁厚 (mm)																																																	
	材質	材質	材質																																																	
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部^{注1)}</td> <td>高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部^{注1)}</td> </tr> <tr> <td>1.37^{注2)}、120^{注3)}</td> <td>1.37^{注2)}、120^{注3)}</td> </tr> <tr> <td>466.8^{注4)}</td> <td>466.8^{注4)}</td> </tr> <tr> <td>14.3^{注5)}</td> <td>14.3^{注5)}</td> </tr> <tr> <td>SM1C^{注6)}</td> <td>SM1C^{注6)}</td> </tr> </tbody> </table>		高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}	1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}	1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}	466.8 ^{注4)}	466.8 ^{注4)}	14.3 ^{注5)}	14.3 ^{注5)}	SM1C ^{注6)}	SM1C ^{注6)}	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部^{注1)}</td> <td>高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部^{注1)}</td> </tr> <tr> <td>1.37^{注2)}、120^{注3)}</td> <td>1.37^{注2)}、120^{注3)}</td> </tr> <tr> <td>457.2^{注4)}</td> <td>457.2^{注4)}</td> </tr> <tr> <td>9.5^{注5)}</td> <td>9.5^{注5)}</td> </tr> <tr> <td>SM1C^{注6)}</td> <td>SM1C^{注6)}</td> </tr> </tbody> </table>		高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}	1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}	1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}	457.2 ^{注4)}	457.2 ^{注4)}	9.5 ^{注5)}	9.5 ^{注5)}	SM1C ^{注6)}	SM1C ^{注6)}																													
高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}																																																			
1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}	1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}																																																			
466.8 ^{注4)}	466.8 ^{注4)}																																																			
14.3 ^{注5)}	14.3 ^{注5)}																																																			
SM1C ^{注6)}	SM1C ^{注6)}																																																			
高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}	高圧原子炉代替注水ポンプ入口ライン分岐部 ^{注1)}																																																			
1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}	1.37 ^{注2)} 、120 ^{注3)}																																																			
457.2 ^{注4)}	457.2 ^{注4)}																																																			
9.5 ^{注5)}	9.5 ^{注5)}																																																			
SM1C ^{注6)}	SM1C ^{注6)}																																																			

08 I 08

16

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前										補正後										備考																																																																					
S2 I R0																				申請範囲の適正化																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>圧</th> <th>力</th> <th>厚</th> <th>名</th> <th>称</th> <th>圧</th> <th>力</th> <th>厚</th> </tr> <tr> <th>(MPa)</th> <th>(MPa)</th> <th>(°C)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>(MPa)</th> <th>(MPa)</th> <th>(°C)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="5"> A-格納容器代替ス 部*31、*33 フレイルイン合流 残留熱除去系 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.92*6、*17</td> <td>77.0*6</td> <td>185*6、*17</td> <td>□</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>69.3*6</td> <td></td> <td>□</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										変更前					変更後						名	称	圧	力	厚	名	称	圧	力	厚	(MPa)	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	(MPa)	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	—					A-格納容器代替ス 部*31、*33 フレイルイン合流 残留熱除去系										3.92*6、*17	77.0*6	185*6、*17	□	□							69.3*6		□	□																			
変更前					変更後																																																																																				
名	称	圧	力	厚	名	称	圧	力	厚																																																																																
(MPa)	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	(MPa)	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)																																																																																
—					A-格納容器代替ス 部*31、*33 フレイルイン合流 残留熱除去系																																																																																				
					3.92*6、*17	77.0*6	185*6、*17	□	□																																																																																
						69.3*6		□	□																																																																																
17																																																																																									

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

		変更前				変更後				備考											
		最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 ^{*1} (mm)	厚 さ ^{*1} (mm)	材	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 ^{*1} (mm)	厚 さ ^{*1} (mm)	材								
S2 I R0	15	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系 子炉注水ライン分岐部	残留熱代替除去系 子炉注水ライン分岐部	3.92 ^{*3}	185	355.6 ^{*6} /355.6 ^{*6} /165.2 ^{*5}	15.1 ^{*6} /15.1 ^{*6} /11.0 ^{*5}	STS410 ^{*6}								
														—	—	—	—	—	—	—	
																					—
		3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系 ブレイライン分岐部	残留熱代替除去系 ブレイライン分岐部	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	—	—							
															—	—	—	—	—	—	—
		3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	B-格納容器代替ス ブレイライン合流部	B-格納容器代替ス ブレイライン合流部	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	—	—							
															—	—	—	—	—	—	—
		3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	B-ドライウエ ルスパイプ ^{*10}	B-ドライウエ ルスパイプ ^{*11}	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	—	—							
															—	—	—	—	—	—	—

		変更前				変更後				備考											
		最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 ^{*1} (mm)	厚 さ ^{*1} (mm)	材	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 ^{*1} (mm)	厚 さ ^{*1} (mm)	材								
S2 I R1	14	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系 子炉注水ライン分岐部	残留熱代替除去系 子炉注水ライン分岐部	3.92 ^{*3}	185	355.6 ^{*6} /355.6 ^{*6} /165.2	15.1 ^{*6} /15.1 ^{*6} /11.0	STS410 ^{*6}								
														—	—	—	—	—	—	—	
																					—
		3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系 ブレイライン分岐部	残留熱代替除去系 ブレイライン分岐部	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	—	—							
															—	—	—	—	—	—	—
		3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	B-格納容器代替ス ブレイライン合流部	B-格納容器代替ス ブレイライン合流部	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	—	—							
															—	—	—	—	—	—	—
		3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	STS42	B-ドライウエ ルスパイプ ^{*10}	B-ドライウエ ルスパイプ ^{*11}	3.92 ^{*3}	185	355.6	15.1	—	—							
															—	—	—	—	—	—	—

記載の適正化

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前										補正後										備考																																																																																	
S2 I R0																				申請範囲の適正化																																																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名</th> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>称</th> <th>圧</th> <th>温</th> <th>度</th> <th>外</th> <th>径</th> <th>厚</th> <th>材</th> <th>名</th> <th>称</th> <th>圧</th> <th>温</th> <th>度</th> <th>外</th> <th>径</th> <th>厚</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>(MPa)</td> <td>(°C)</td> <td></td> <td>(mm)</td> <td></td> <td>(mm)</td> <td></td> <td>B-格納容器代替 スプレイン 合流部*31, *40</td> <td></td> <td>(MPa)</td> <td>(°C)</td> <td></td> <td>(mm)</td> <td>(mm)</td> <td></td> <td>S25C*6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系</td> <td>3.92*6, *17</td> <td>185*6, *17</td> <td></td> <td></td> <td>77.0*6</td> <td></td> <td>□ (6.7*1)*6</td> <td>S25C*6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>□ (8.3*1)*6</td> <td>S25C*6</td> </tr> </tbody> </table>										名	変更前					変更後					称	圧	温	度	外	径	厚	材	名	称	圧	温	度	外	径	厚	材			(MPa)	(°C)		(mm)		(mm)		B-格納容器代替 スプレイン 合流部*31, *40		(MPa)	(°C)		(mm)	(mm)		S25C*6										残留熱除去系	3.92*6, *17	185*6, *17			77.0*6		□ (6.7*1)*6	S25C*6																	□ (8.3*1)*6	S25C*6										
名	変更前					変更後																																																																																															
	称	圧	温	度	外	径	厚	材	名	称	圧	温	度	外	径	厚	材																																																																																				
		(MPa)	(°C)		(mm)		(mm)		B-格納容器代替 スプレイン 合流部*31, *40		(MPa)	(°C)		(mm)	(mm)		S25C*6																																																																																				
									残留熱除去系	3.92*6, *17	185*6, *17			77.0*6		□ (6.7*1)*6	S25C*6																																																																																				
																□ (8.3*1)*6	S25C*6																																																																																				
20																																																																																																					

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前										補正後										備考
S2 I R0										S2 I R1										記載の適正化
変更前					変更後					変更前					変更後					
名	称名	最高使用力圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	称名	最高使用力圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	称名	最高使用力圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
残留熱除去系	A-サブプレッショナルチェンバースブレイライン分岐部	3.92*3	185	216.3	12.7	SPT42	A-サブプレッショナルチェンバースブレイライン分岐部	変更なし	200*17	114.3	8.6	SPT42	A-サブプレッショナルチェンバースブレイライン分岐部	変更なし	200*17	114.3*6	8.6*6	STPT410*6		
				/114.3	/8.6					/114.3*6	/8.6*6									
				114.3*4	8.6*4	SPT42*4														
				114.3	8.6	SPT42														
				114.3	8.6	SPT42														
	サブプレッショナルチェンバースブレイ管*14	3.92*3	104	114.3	8.6	SPT42	サブプレッショナルチェンバースブレイ管*38	変更なし	200*17	114.3*6	8.6*6	STPT410*6								
				/-	/-					/-	/-									
				114.3	8.6															
				114.3	8.6															
				114.3	8.6															
B-サブプレッショナルチェンバースブレイライン分岐部	3.92*3	185	216.3	12.7	SPT42	B-サブプレッショナルチェンバースブレイライン分岐部	変更なし	200*17	114.3	8.6	SPT42									
			/114.3	/8.6					/114.3	8.6										
			114.3	8.6	SPT42															
			114.3	8.6	SPT42															
			114.3	8.6	SPT42															
サブプレッショナルチェンバースブレイ管*15	3.92*3	104	114.3	8.6	SPT42	サブプレッショナルチェンバースブレイ管*13	変更なし	200*15	114.3*4	8.6*4	SPT42*4									
			/-	/-					/-	/-										
			114.3	8.6																
			114.3	8.6																
			114.3	8.6																
サブプレッショナルチェンバースブレイ管*17	3.92*3	104	216.3	12.7	SPT42	B-サブプレッショナルチェンバースブレイライン分岐部	変更なし	200*15	114.3	8.6	SPT42									
			/114.3	/8.6					/114.3	8.6										
			114.3	8.6	SPT42															
			114.3	8.6	SPT42															
			114.3	8.6	SPT42															

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備)】

補正前	補正後	備考
<p style="text-align: center;">S2 I R0</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B-残留熱除去系熱交換器から原子炉再循環系との取合点まで」と記載</p> <p>*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェーンババから「原子炉再循環系との取合点からA-残留熱除去ポンプまで」の合流点まで」と記載</p> <p>*17：重大事故等時における使用時の値（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A-残留熱除去ポンプからA-残留熱除去系熱交換器まで」の分岐点から「A系原子炉再循環系戻り管」の合流点まで」と記載</p> <p>*19：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）と兼用（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系低圧注水管」と記載</p> <p>*21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器頂部スプレイ管」の分岐点から原子炉圧力容器まで」と記載</p> <p>*22：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード））と兼用（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*23：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード））、格納容器代替スプレイ系、ベデスタル代替注水系）と兼用（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*24：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイ系、ベデスタル代替注水系）と兼用（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*25：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧原子炉代替注水系、残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイ系、ベデスタル代替注水系、残留熱代替除去系、残留熱代替注水系）と兼用（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系低圧注水管」と記載</p> </div> <p style="text-align: center;">23</p>	<p style="text-align: center;">S2 I R1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>器冷却モード）、格納容器代替スプレイ系、残留熱代替除去系）と兼用（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェーンババスプレイヘッドまで」と記載</p> <p>*16：重大事故等時における使用時の値（核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p> <p>*17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェーンババスプレイヘッドまで」と記載</p> </div> <p style="text-align: center;">17</p>	<p style="text-align: center;">記載の適正化</p>

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前	補正後	備考
<p style="text-align: center;">S2 I R0</p> <p>*27：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系原子炉再循環系戻り管」の分岐点から原子炉圧力容器まで」と記載 *28：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧原子炉代替注水系、残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（低圧原子炉代替注水系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載） *29：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバからC-残留熱除去ポンプまで」と記載 *30：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系、残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載） *31：本設備は既存の設備である。 *32：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載） *33：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器代替スプレイス）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載） *34：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系原子炉格納容器スプレイ管」と記載 *35：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで」と記載 *36：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード、サブプレッションポンプ水冷却モード）、残留熱代替除去系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載） *37：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード）、残留熱代替除去系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載） *38：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード））と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）</p>		<p style="text-align: center;">記載の適正化</p>

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前	補正後	備考
<p style="text-align: center;">S2 I R0</p> <p>*39：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器スプレイ設備 (残留熱除去系 (格納容器冷却モード)、格納容器代替スプレイ系、残留熱代替除去系) と兼用 (核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定) による工事計画の記載)</p> <p>*40：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (格納容器代替スプレイ系、残留熱代替除去系) と兼用 (核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定) による工事計画の記載)</p> <p>*41：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッショントラップスプレイヘッドまで」と記載</p> <p>*42：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッショントラップスプレイヘッドまで」と記載</p> <p style="text-align: center;">25</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 600px; width: 100%;"></div>	<p style="text-align: center;">記載の適正化</p>

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前	補正後	備考																																																																																		
<div style="border: 1px solid black; height: 600px; width: 100%;"></div>	<p style="text-align: center;">S2 I R1</p> <p style="text-align: center;">7. 原子炉冷却材補給設備に係る次の事項 7.1 原子炉隔離時冷却系 (5) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">変更前</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">変更後</th> </tr> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材</th> <th>料</th> <th>名</th> <th>称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材</th> <th>料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ストレート</td> <td>0.427*3</td> <td>104</td> <td>165.2*4 /165.2*4 /165.2*4</td> <td>7.1*4 /7.1*4 /7.1*4</td> <td>STS42*4</td> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系ストレート</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)*2</td> <td>1.37*3</td> <td>66</td> <td>165.2</td> <td>7.1</td> <td>STPT42</td> <td></td> <td>復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)*5</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>100*6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系</td> <td>復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)</td> <td>1.37*3</td> <td>66</td> <td>165.2 /165.2 /165.2</td> <td>7.1 /7.1 /7.1</td> <td>SUS304TP</td> <td></td> <td>復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>100*6</td> <td>165.2*7 /165.2*7 /165.2*7</td> <td>7.1*7 /7.1*7 /7.1*7</td> <td>SUS304TP*7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更前		変更後		名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料	名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ストレート	0.427*3	104	165.2*4 /165.2*4 /165.2*4	7.1*4 /7.1*4 /7.1*4	STS42*4		原子炉隔離時冷却系ストレート	変更なし	変更なし	変更なし					復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)*2	1.37*3	66	165.2	7.1	STPT42		復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)*5	変更なし	変更なし	100*6					原子炉隔離時冷却系	復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)	1.37*3	66	165.2 /165.2 /165.2	7.1 /7.1 /7.1	SUS304TP		復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)	変更なし	変更なし	100*6	165.2*7 /165.2*7 /165.2*7	7.1*7 /7.1*7 /7.1*7	SUS304TP*7		原子炉隔離時冷却系							原子炉隔離時冷却系								<p style="text-align: center;">申請範囲の適正化</p>
	変更前		変更後																																																																																	
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料	名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料																																																																					
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ストレート	0.427*3	104	165.2*4 /165.2*4 /165.2*4	7.1*4 /7.1*4 /7.1*4	STS42*4		原子炉隔離時冷却系ストレート	変更なし	変更なし	変更なし																																																																									
	復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)*2	1.37*3	66	165.2	7.1	STPT42		復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)*5	変更なし	変更なし	100*6																																																																									
原子炉隔離時冷却系	復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)	1.37*3	66	165.2 /165.2 /165.2	7.1 /7.1 /7.1	SUS304TP		復水貯蔵タンク出口ライオン合流部(原子炉隔離時冷却系)	変更なし	変更なし	100*6	165.2*7 /165.2*7 /165.2*7	7.1*7 /7.1*7 /7.1*7	SUS304TP*7																																																																						
	原子炉隔離時冷却系							原子炉隔離時冷却系																																																																												

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備) 】

補正前	補正後	備考																																																
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p style="text-align: center;">S2 I R1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名</th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> <tr> <th>称</th> <th>最高使用圧 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径^{*1} (mm)</th> <th>厚さ^{*1} (mm)</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉隔離時冷却系^{*10}</td> <td>高圧原子炉代替注水ポンプ</td> <td rowspan="4">8.62^{*3}</td> <td rowspan="4">302</td> <td rowspan="4">—</td> <td rowspan="4">—</td> <td rowspan="4">STPT410^{*4}</td> </tr> <tr> <td>出口ライン合流部</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系合流部</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系合流部^{*11}</td> </tr> <tr> <td>高圧原子炉代替注水ポンプ</td> <td></td> <td></td> <td>114.3^{*4}</td> <td>11.1^{*4}</td> <td>STPT410^{*7}</td> </tr> <tr> <td>出口ライン合流部</td> <td></td> <td></td> <td>114.3</td> <td>11.1</td> <td>STPT42</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系合流部</td> <td></td> <td></td> <td>114.3^{*9}</td> <td>11.1^{*9}</td> <td>STPT42^{*9}</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載 注記*1：公称値を示す。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブレッシュヨシオンチェーンから原子炉隔離時冷却ポンプまで」と記載 *3：S I 単位に換算したものである。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *5：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (原子炉隔離時冷却系) と兼用 (核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載) *6：重大事故等時における使用時の値 (核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載) *7：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水輸送系との取合点から「サブレッシュヨシオンチェーンから原子炉隔離時冷却ポンプまで」の合流点まで」と記載 *9：エルボを示す。</p>	名	変更前			変更後			称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*1} (mm)	材	原子炉隔離時冷却系 ^{*10}	高圧原子炉代替注水ポンプ	8.62 ^{*3}	302	—	—	STPT410 ^{*4}	出口ライン合流部	原子炉隔離時冷却系合流部	原子炉隔離時冷却系合流部 ^{*11}	高圧原子炉代替注水ポンプ			114.3 ^{*4}	11.1 ^{*4}	STPT410 ^{*7}	出口ライン合流部			114.3	11.1	STPT42	原子炉隔離時冷却系合流部			114.3 ^{*9}	11.1 ^{*9}	STPT42 ^{*9}							変更なし	<p>申請範囲の適正化</p>
名	変更前			変更後																																														
	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*1} (mm)	材																																												
原子炉隔離時冷却系 ^{*10}	高圧原子炉代替注水ポンプ	8.62 ^{*3}	302	—	—	STPT410 ^{*4}																																												
	出口ライン合流部																																																	
	原子炉隔離時冷却系合流部																																																	
	原子炉隔離時冷却系合流部 ^{*11}																																																	
高圧原子炉代替注水ポンプ			114.3 ^{*4}	11.1 ^{*4}	STPT410 ^{*7}																																													
出口ライン合流部			114.3	11.1	STPT42																																													
原子炉隔離時冷却系合流部			114.3 ^{*9}	11.1 ^{*9}	STPT42 ^{*9}																																													
						変更なし																																												

島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉冷却系統設備)】

補正前	補正後	備考
<div style="border: 1px solid black; height: 600px; width: 100%;"></div>	<p style="text-align: center;">S2 I R1</p> <p style="text-align: center;">*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉隔離時冷却ポンプから原子炉浄化系との取合点まで」と記載 *11：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系、原子炉隔離時冷却系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その 他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規 定による工事計画の記載）</p> <p style="text-align: right;">21</p>	<p>申請範囲の適正化</p>

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉格納施設) 】

補正前		補正後		備考		
S2 I R0						
本 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料						
名	変更前			変更後		
	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
弁AV217-3入口ライ ン分岐部 ～ 弁AV217-2*2, *3, *4 弁AV217-2 ～ 弁AV217-8A出口ラ イン合流部*2, *3 弁AV217-8A出口ラ イン合流部 ～ ドライヴェル*2, *3 弁V17-201 ～ 第1号機不活性ガ ス発生装置(置換 用)出口ライン合流 部*9	弁AV217-3入口ライ ン分岐部	0.427*5	171	619.2	9.5*6(14.3*1)	SM41C
	～ 弁AV217-2*2, *3, *4			609.6	9.5*6(9.5*1)	SM41C
	弁AV217-2			609.6*6, *7	9.5*1, *6, *7	STPT42*6, *7
	～ 弁AV217-8A出口ラ イン合流部*2, *3	0.427*5	171	609.6	9.5*6(9.5*1)	SM41C
	弁AV217-8A出口ラ イン合流部			77.0*8	9.5*6(7.95*1, *8)	S25C*8
	～ ドライヴェル*2, *3	0.427*5	171	69.3*8	9.5*6(8.3*1, *8)	S25C*8
	弁V17-201			609.6	9.5*6(9.5*1)	SM41C
	～ 第1号機不活性ガ ス発生装置(置換 用)出口ライン合流 部*9	0.98*5	66	609.6*6 /508.0*6	9.5*6(9.5*1, *6) /9.5*6(9.5*1, *6)	SM41C*6
				355.6	11.1*1	STPT42
				382.5*8	1.5*1, *8×1*8, *10	SUS316*8
43						
申請範囲の適正化						

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉格納施設) 】

変更前		変更後		備考	
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
AW217-8B入口ライン分岐部	AW217-8B入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-8B出口ライン合流部	AW217-8B出口ライン合流部	0.427	104	0.427	104
ドライウエル	ドライウエル				
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	171	0.427	171
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	171	0.427	171
原子炉種空調換気系分岐部	原子炉種空調換気系分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-19	AW217-19	0.427	171	0.427	171
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	104	0.427	104
原子炉種空調換気系分岐部	原子炉種空調換気系分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-23入口ライン分岐部	AW217-23入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-23入口ライン分岐部	AW217-23入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-18	AW217-18	0.427	171	0.427	171

変更前		変更後		備考	
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
AW217-8B入口ライン分岐部	AW217-8B入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-8B出口ライン合流部	AW217-8B出口ライン合流部	0.427	104	0.427	104
ドライウエル	ドライウエル				
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	171	0.427	171
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	171	0.427	171
原子炉種空調換気系分岐部	原子炉種空調換気系分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-19	AW217-19	0.427	171	0.427	171
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	104	0.427	104
原子炉種空調換気系分岐部	原子炉種空調換気系分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-23入口ライン分岐部	AW217-23入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-23入口ライン分岐部	AW217-23入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-18	AW217-18	0.427	171	0.427	171

変更前		変更後		備考	
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
AW217-8B入口ライン分岐部	AW217-8B入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-8B出口ライン合流部	AW217-8B出口ライン合流部	0.427	104	0.427	104
ドライウエル	ドライウエル				
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	171	0.427	171
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	171	0.427	171
原子炉種空調換気系分岐部	原子炉種空調換気系分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-19	AW217-19	0.427	171	0.427	171
サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	サブプレッショントラチェンバ出口ライン合流部	0.427	104	0.427	104
原子炉種空調換気系分岐部	原子炉種空調換気系分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-23入口ライン分岐部	AW217-23入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-23入口ライン分岐部	AW217-23入口ライン分岐部	0.427	171	0.427	171
AW217-18	AW217-18	0.427	171	0.427	171

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄末に「～まで」と記載。
 注記*1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「薬液ガス配管（ドライウエル）」と記載。
 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「薬液ガス制御系サージタンクからドライウエルまで」と記載。
 *4：本設備は記載の適正化の必要のない部分であり、手続を除外する。
 *5：S1単位に換算したものである。

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄末に「～まで」と記載。
 注記*1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「薬液ガス補給配管」の分岐点から「薬液ガス配管（サブプレッショントラチェンバ）」の合流点まで」と記載。
 *3：S1単位に換算したものである。
 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *5：差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ

補正前

補正後

記載の適正化

【 I 工事計画書 要目表 (原子炉格納施設) 】

補正前	補正後	備考
<p style="text-align: center;">S2 I ROE</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年12月25日付け60資庁第11431号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-5-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。</p> <p>*7 : エルボを示す。</p> <p>*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機不活性ガス発生装置(置換用)との取合点から「窒素ガス置換配管(ドライウエル)」の合流点まで」と記載</p> <p>*10 : 層数を示す。</p> <p>*11 : 当該配管については、1号機不活性ガス系の2号機との共用取止めに伴い機能廃止とする。</p> <p>*12 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。</p> <p>*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「窒素ガス補給配管」の分岐点から「窒素ガス置換配管(サブレッシュンチェンバ)」の合流点まで」と記載</p> <p>*14 : 差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ</p> <p>*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」と記載</p> <p>*16 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(格納容器フィルタベント系)、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器フィルタベント系)及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置(格納容器フィルタベント系)と兼用(核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)</p> <p>*17 : 重大事故等時における使用時の値(核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)</p> <p>*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブレッシュンチェンバから「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の合流点まで」と記載</p> <p>*19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の分岐点から非常用ガス処理系との取合点まで」と記載</p> </div> <p style="text-align: center;">45</p>	<p style="text-align: center;">S2 I RIE</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」と記載</p> <p>*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年12月25日付け60資庁第11431号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-5-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。</p> <p>*8 : エルボを示す。</p> <p>*9 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(格納容器フィルタベント系)、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器フィルタベント系)及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置(格納容器フィルタベント系)と兼用(核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)</p> <p>*10 : 重大事故等時における使用時の値(核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)</p> <p>*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブレッシュンチェンバから「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の合流点まで」と記載</p> <p>*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の分岐点から非常用ガス処理系との取合点まで」と記載</p> <p>*13 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。</p> </div> <p style="text-align: center;">40</p>	<p>記載の適正化</p>

島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表

【Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類】

補正前	補正後	備考
<p style="text-align: center;">S2 III ROE</p> <p>Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類 平成24年6月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえた工事に伴い、以下の変更を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 原子炉本体のうち、燃料について、高燃焼度8×8燃料を用いないことから廃止する。 (2) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材循環設備の主蒸気系主配管について、信頼性向上の観点から取替を行う。 (3) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材循環設備の主蒸気系主配管について、主蒸気隔離弁漏えい制御系を用いないことから当該系統の撤去を行う。 (4) 原子炉冷却系統設備のうち、残留熱除去設備の残留熱除去系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。 (5) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉補機冷却設備の高圧炉心スプレイ補機海水ポンプについて、信頼性向上の観点から改造を行う。 (6) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材浄化設備の原子炉浄化系主配管について、信頼性向上の観点から改造を行う。 (7) 燃料設備のうち、使用済燃料貯蔵設備の使用済燃料プールについて、制御棒貯蔵ハンガの改造に伴い、改造（制御棒の貯蔵容量変更）を行う。 (8) 原子炉格納施設のうち、原子炉格納容器の配管貫通部について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造を行う。 (9) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気系主要弁について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（駆動方法変更）を行う。 (10) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。 <p style="text-align: center;">1</p>	<p style="text-align: center;">S2 III RIE</p> <p>Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類 平成24年6月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえた工事に伴い、以下の変更を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 原子炉本体のうち、燃料について、高燃焼度8×8燃料を用いないことから廃止する。 (2) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材循環設備の主蒸気系主配管について、信頼性向上の観点から取替を行う。 (3) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材循環設備の主蒸気系主配管について、主蒸気隔離弁漏えい制御系を用いないことから当該系統の撤去を行う。 (4) 原子炉冷却系統設備のうち、残留熱除去設備の残留熱除去系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。 <u>(5) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材補給設備の原子炉隔離時冷却系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。</u> <u>(6) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉補機冷却設備の高圧炉心スプレイ補機海水ポンプについて、信頼性向上の観点から改造を行う。</u> <u>(7) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材浄化設備の原子炉浄化系主配管について、信頼性向上の観点から改造を行う。</u> <u>(8) 燃料設備のうち、使用済燃料貯蔵設備の使用済燃料プールについて、制御棒貯蔵ハンガの改造に伴い、改造（制御棒の貯蔵容量変更）を行う。</u> (9) 原子炉格納施設のうち、原子炉格納容器の配管貫通部について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造を行う。 <u>(10) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気系主要弁について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（駆動方法変更）を行う。</u> <u>(11) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。</u> <p style="text-align: center;">1</p>	<p>申請範囲の適正化</p> <p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p>

島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表

【IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類】

補正前	補正後	備考
<p style="text-align: center;">IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類</p> <p style="text-align: center;">当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。</p> <p style="text-align: center;">島根原子力発電所第2号機 設計及び工事計画認可申請書番号 電原設第69号（平成25年12月25日）</p> <p style="text-align: center;">以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号 電原設第17号（令和3年10月1日） 電原設第28号（令和3年12月22日） 電原設第43号（令和4年3月28日） 電原設第3号（令和4年5月25日） 電原設第20号（令和4年7月28日） 電原設第31号（令和4年10月31日） 電原設第38号（令和4年12月23日） 電原設第6号（令和5年6月22日）</p> <p style="text-align: center;">S2 IV R0E</p> <p style="text-align: center;">1</p>	<p style="text-align: center;">IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類</p> <p style="text-align: center;">当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。</p> <p style="text-align: center;">島根原子力発電所第2号機 設計及び工事計画認可申請書番号 電原設第69号（平成25年12月25日）</p> <p style="text-align: center;">以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号 電原設第17号（令和3年10月1日） 電原設第28号（令和3年12月22日） 電原設第43号（令和4年3月28日） 電原設第3号（令和4年5月25日） 電原設第20号（令和4年7月28日） 電原設第31号（令和4年10月31日） 電原設第38号（令和4年12月23日） 電原設第6号（令和5年6月22日） <u>電原設第25号（令和5年7月21日）</u></p> <p style="text-align: center;">S2 IV R1E</p> <p style="text-align: center;">1</p>	<p style="text-align: center;">補正を行った書類 番号及び年月日の 追加</p>

4. 補正内容を反映した書類

申請範囲

今回の申請範囲は、島根原子力発電所第2号機の次の部分であります。

(一) 原子力設備

原子炉本体

1. 炉型式，定格熱出力，過剰反応度及び反応度係数（減速材温度係数，燃料棒温度係数，減速材ボイド係数及び出力反応度係数）並びに減速材
2. 炉心
 - (1) 炉心形状（チャンネルボックスの主要寸法及び材料を付記すること。），格子形状，燃料集合体数，炉心有効高さ及び炉心等価直径
 - (2) 燃料の種類，燃料集合体平均濃縮度又は富化度（初装荷及び取替の別に記載すること。），燃料集合体最高燃焼度（初装荷及び取替の別に記載すること。）及び燃料の最大装荷量
 - (3) 燃料材の最高温度
 - (4) 熱的制限値（最小限界出力比及び最大線出力密度）

原子炉冷却系統設備

4. 原子炉冷却材の循環設備
 - 4.1 主蒸気系
 - (8) 主配管
5. 残留熱除去設備
 - 5.1 残留熱除去系
 - (5) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）
7. 原子炉冷却材補給設備
 - 7.1 原子炉隔離時冷却系
 - (5) 主配管
8. 原子炉補機冷却設備
 - 8.2 高圧炉心スプレイ補機冷却系（高圧炉心スプレイ補機海水系を含む。）
 - (2) ポンプ
 - ・高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ
9. 原子炉冷却材浄化設備
 - 9.1 原子炉浄化系
 - (5) 主配管

燃料設備

3. 使用済燃料貯蔵設備
 - (1) 使用済燃料貯蔵槽
 - ・燃料プール
 - (6) 制御棒貯蔵ハンガ

原子炉格納施設

1. 原子炉格納容器
 - (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
 - a. 配管貫通部
 - (b) ベローズなし貫通部
 - イ. 直結型
 - ハ. 計装用
3. 圧力低減設備その他の安全設備
 - (8) 原子炉格納容器調気設備
 - (8.1) 窒素ガス制御系
 - ニ. 主要弁
 - ホ. 主配管

5. 残留熱除去設備に係る次の事項

5.1 残留熱除去系

(5) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料						
残留熱除去系	弁V222-10 ～ 燃料プール冷却入口ライン合流部*2	1.37*3	66	216.3	8.2	STPT410	残留熱除去系	変更なし									
				216.3	8.2	STPT42											
	燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ A-燃料プール冷却入口ライン合流部*2	1.37*3	66	216.3	8.2	STPT42						変更なし					
				185	216.3	8.2							STPT42				
	燃料プール冷却入口ライン合流部 ～ 残留熱代替除去ポンプ入口ライン分岐部*2	1.37*3	66	216.3	8.2	STPT42						変更なし					
				185	216.3*4	8.2*4							STPT42*4				
	残留熱代替除去ポンプ入口ライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却入口ライン合流部*2	1.37*3	185	—		—						残留熱代替除去ポンプ入口ライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却入口ライン合流部*5	変更なし		216.3*6	8.2*6	STPT410*6
				216.3	8.2										STPT42	/216.3*6	
	A-残留熱除去ポンプ ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部*7	3.92*3	185	216.3*4	8.2*4	STPT42*4						A-残留熱除去ポンプ ～ A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部*8	変更なし				
				355.6	15.1	STS42											
				355.6*4	19.0*4	STS42*4											
				355.6	19.0	STS42											
				/355.6	/19.0	STS42											
	A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ A-残留熱除去系熱交換器*7	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42						A-残留熱除去系熱交換器バイパスライン分岐部 ～ A-残留熱除去系熱交換器*8	変更なし				
355.6*4				19.0*4	STS42*4												

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
残留熱除去系	B-ドライウェルスピーライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却ライン分岐部*9, *10	3.92*3	185	355.6*4	19.0*4	STS42*4	B-ドライウェルスピーライン分岐部 ～ B-燃料プール冷却ライン分岐部*11	変更なし						
				355.6	15.1	STS42								
				/355.6 /216.3*2	/19.0 /12.7*2	STS42								
	B-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ B-サプレッションプール冷却ライン分岐部*9, *10	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-燃料プール冷却ライン分岐部 ～ B-サプレッションプール冷却ライン分岐部*11	変更なし						
				/355.6 /267.4	/19.0 /15.1	STS42								
	B-サプレッションプール冷却ライン分岐部 ～ 残留熱代替除去系原子炉注水ライン分岐部*9, *10	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-サプレッションプール冷却ライン分岐部 ～ 残留熱代替除去系原子炉注水ライン分岐部*12	変更なし	変更なし			355.6*6	15.1*6	STS410*6
												/355.6*6 /165.2	/15.1*6 /11.0	

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
残留熱除去系	残留熱代替除去系原 子炉注水ライン分岐 部 ～ 残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 *9, *10	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系原 子炉注水ライン分岐 部 ～ 残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 *12	変更なし	変更なし		
	—			355.6*6 /355.6*6 /165.2	15.1*6 /15.1*6 /11.0	STS410*6					
	残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 ～ B-格納容器代替スプ レイライン合流部 *9, *10	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	残留熱代替除去系ス プレイライン分岐部 ～ B-格納容器代替スプ レイライン合流部 *13	変更なし			
B-格納容器代替スプ レイライン合流部 ～ B-ドライウェルスプ レイ管*9, *10	3.92*3	185	355.6	15.1	STS42	B-格納容器代替スプ レイライン合流部 ～ B-ドライウェルスプ レイ管*14	変更なし				

変更前						変更後								
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料			
残留熱除去系	A-サブプレッショ ンチェンバスプ レイライン分岐 部 ～ サブプレッショ ンチェンバスプレ イ管*15	3.92*3	185	216.3	12.7	STPT42	A-サブプレッショ ンチェンバスプ レイライン分岐 部 ～ サブプレッショ ンチェンバスプレ イ管*13	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
				/114.3	/8.6									
				114.3*4	8.6*4								STPT42*4	
				114.3	8.6								STPT42	
				114.3	8.6								STPT42	
	B-サブプレッショ ンチェンバスプ レイライン分岐 部 ～ サブプレッショ ンチェンバスプレ イ管*17	3.92*3	185	104	216.3	12.7	STPT42	B-サブプレッショ ンチェンバスプ レイライン分岐 部 ～ サブプレッショ ンチェンバスプレ イ管*13	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
					/114.3	/8.6								
					114.3	8.6								STPT42
					114.3	8.6								STPT42
					114.3*4	8.6*4								STPT42*4
				—		変更なし		200*16	114.3*6 /114.3*6 /—	8.6*6 /8.6*6 /—	STPT410*6			

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：エルボを示す。

*5：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（残留熱代替除去系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*6：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「A-残留熱除去ポンプから A-残留熱除去系熱交換器まで」と記載

*8：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サブプレッションプール水冷却モード）））と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系原子炉格納容器スプレイ管」と記載

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系低圧注入管」の分岐点から原子炉格納容器スプレイヘッドまで」と記載

*11：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード，サブプレッションプール水冷却モード）），残留熱代替除去系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*12：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード）），残留熱代替除去系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*13：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード）））と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*14：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容

器冷却モード)), 格納容器代替スプレイ系, 残留熱代替除去系) と兼用 (核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)

*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A系原子炉再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバスプレイヘッドまで」と記載

*16 : 重大事故等時における使用時の値 (核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)

*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B系再循環系戻り管」の分岐点からサブプレッションチェンバスプレイヘッドまで」と記載

7. 原子炉冷却材補給設備に係る次の事項

7.1 原子炉隔離時冷却系

(5) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ストレーナ ～ 復水貯蔵タンク 出口ライン合流部(原子炉隔離時冷却系)*2	0.427*3	104	165.2*4	7.1*4	STS42*4	原子炉隔離時冷却系	変更なし 0.853*6	変更なし	変 更 な し		
				/165.2*4	/7.1*4							
	165.2	7.1	STPT42	変更なし	変更なし 100*6							
	165.2	7.1	SUS304TP									
	復水貯蔵タンク 出口ライン合流部(原子炉隔離時冷却系)	1.37*3	66	165.2	7.1	SUS304TP		変更なし	変更なし 100*6	変 更 な し		
				/165.2	/7.1							
	～ 原子炉隔離時冷却ポンプ*2	1.37*3	66	165.2	7.1	SUS304TP		変更なし	変更なし 100*6	165.2*7	7.1*7	SUS304TP*7
				/165.2*7	/7.1*7	/-				/-		

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
原子炉隔離時冷却系	弁V271-236 ～ 弁MV221-1*8	1.37*3	66	165.2	7.1	SUS304TP	変更なし					
				165.2*9	7.1*9	SUS304TP*9						
	弁MV221-1 ～ 復水貯蔵タンク 出口ライン合流部 (原子炉隔離時冷却系) *8	1.37*3	66	165.2	7.1	SUS304TP	変更なし					
	原子炉隔離時冷却ポンプ ～ 高圧原子炉代替注水ポンプ 出口ライン合流部*10	11.3*3	66	114.3	11.1	STPT42	原子炉隔離時冷却ポンプ ～ 高圧原子炉代替注水ポンプ 出口ライン合流部*5	変更なし	変更なし	100*6	変更なし	
				114.3	11.1	SUS304TP						
				114.3 /114.3 /ー	11.1 /11.1 /ー	SUS304TP						
		8.62*3	302	114.3*9	11.1*9	STPT42*9						変更なし
				114.3	11.1	STPT42						

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材 料	
原子炉隔離時冷却系 高圧原子炉代 替注水ポンプ 出口ライン合 流部 ～ 原子炉隔離時 冷却系合流部 *10	8.62*3	302	—			原子炉隔離時冷却系 高圧原子炉代 替注水ポンプ 出口ライン合 流部 ～ 原子炉隔離時 冷却系合流部 *11	変更なし	114.3*7 /114.3*7 /114.3	11.1*7 /11.1*7 /11.1	STPT410*7		
			114.3*4	11.1*4	STPT410*4					変更なし		
			114.3	11.1	STPT42					変更なし		
			114.3*9	11.1*9	STPT42*9	変更なし			変更なし			

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバから原子炉隔離時冷却ポンプまで」と記載

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*6：重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*7：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水輸送系との取合点から「サプレッションチェンバから原子炉隔離時冷却ポンプまで」の合流点まで」と記載

*9：エルボを示す。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉隔離時冷却ポンプから原子炉浄化系との取合点まで」と記載

*11：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧原子炉代替注水系，原子炉隔離時冷却系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧原子炉代替注水系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

8. 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

8.2 高圧炉心スプレイ補機冷却系（高圧炉心スプレイ補機冷却海水系を含む。）

(2) ポンプの名称，種類，容量，揚程又は吐出圧力，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数並びに原動機の種類，出力及び個数

			変更前	変更後
名称			高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ*1	変更なし
ポンプ	種類	—	ターボ形	
	容量*2	m ³ /h/個	□以上*3(336*4)	
	揚程*5	m	□以上*3(35*4)	
	最高使用圧力	MPa	0.98*6, *7	
	最高使用温度	℃	40*6	
主要寸法	吸込内径*3	mm	216.5*4	
	吐出内径*3	mm	237.2*4	
	コラム外径*3	mm	318.5*4	
	コラム厚さ*3	mm	□(14.0*4)	
	高さ	mm	6852*4, *9	11652*4, *8
材料	ケーシング	—	□	変更なし
個数	—	1		
取付箇所	*10 系統名 (ライン名)	—	高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ*3 (高圧炉心スプレイ補機海水系)	
	設置床	—	取水槽 EL 1100mm*3	
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	EL 2290mm 以上

(つづき)

			変 更 前	変 更 後
原 動 機	種 類	—	誘導電動機	変更なし
	出 力	kW/個	75* ⁴	
	個 数	—	1	
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ* ³	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には、附帯設備に記載

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載

*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「高圧炉心スプレイ補機海水ポンプから高圧炉心スプレイ補機海水ストレーナまで」による。

*7 : S I 単位に換算したものである。

*8 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*9 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「第 11-4-4 図 高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ構造図」による。

*10 : 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載

9. 原子炉冷却材浄化設備に係る次の事項

9.1 原子炉浄化系

(5) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
原子炉浄化系	原子炉浄化補助ポンプバイパスライン分岐部 ～ 原子炉浄化補助ポンプ*2	8.62*3	302	267.4	15.1	SUS316TP	変更なし					
	原子炉圧力容器 ～ 原子炉圧力容器ボトムドレンライン合流部*4	8.62*3	302	60.5*5	8.7*5	STS42*5	原子炉浄化系	変更なし				
				60.5	8.7	STS42						
				89.1 /60.5	7.6 /8.7	SUS316TP						
				89.1	7.6	SUS316TP		変更なし	89.1 /—*6 /89.1*7	7.6 /—*6 /7.6*7	変更なし	
				89.1 /89.1 /—	7.6 /7.6 /—	SUS316TP						
				114.3 /89.1	8.6 /7.6	SUS316TP						
	114.3	8.6	SUS316TP	変更なし								

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系との取合点から原子炉浄化補助ポンプまで」と記載

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉压力容器から「原子炉再循環系との取合点から原子炉浄化補助ポンプまで」の合流点まで」と記載

*5：エルボを示す。

*6：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*7：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

燃料設備

沸騰水型原子力発電設備に係るものにあつては、次の事項

3. 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(1) 使用済燃料貯蔵槽の名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数

			変更前	変更後	
名		称	燃料プール	燃料プール*1	
種	類	—	ステンレス鋼内張りプール形 (ラック貯蔵方式)	変更 なし	
容量	燃料集合体	体	3518	106*2, *3	
	制御棒	本	154*2		
主要寸法	た	て	mm	14000*4, *5, *6	
	横		mm	13500*4, *5, *7	
	深		さ	mm	12070*4, *8, *9, 9000*4, *10
	ライニング材厚さ*11		mm	<input type="checkbox"/> *12(6.0*4), <input type="checkbox"/> *13(12.0*4)	
	壁厚さ	*13, *14	東	mm	2246*4
			西	mm	2000*4
			南	mm	2000*4
			北	mm	2000*4
			底	mm	2030*4, *8
	材料	ライニング材		—	SUS304
壁*13		—	鉄筋コンクリート*15		
個		数	—	1	

注記*1 : 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プール冷却系, 燃料プールスプレイ系)と兼用(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載)

*2 : 制御棒・破損燃料貯蔵ラック1個にすべて制御棒(10本)を貯蔵した場合

*3 : 電気事業法の規定に基づき, 本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*4 : 公称値を示す。

*5 : 燃料プール内のり

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「14.0m」と記載。記載内容は, 設計図書による。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「13.5m」と記載。記載内容は, 設計図書による。

*8 : 使用済燃料貯蔵ラック等据付エリア

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「12.1m」と記載。記載内容は, 設計図書による。

*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「9.0m」と記載。記載内容は, 設計図書による。

る。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材厚さ(最小)」と記載

*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「**□**」と記載。記載内容は，設計図書による。

*13：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*14：ライニング材を含む厚さ

*15：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和60年12月25日付け60資庁第11431号にて認可された工事計画の添付書類IV-2-5-3「燃料プール（キャスク置場を含む）の耐震性についての計算書」による。

(6) 制御棒貯蔵ハンガの名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前		変更後	
名称		—	制御棒貯蔵ハンガ		変更なし	
種類	—	吊り下げ式				
容量		本/個	96 (6本×16列)*1	48 (3本×16列)*1	64*2 (4本×16列)	32*2 (2本×16列)
主要寸法	たて	mm	□*3, *4	—	変更なし	
	全長	mm	□*3	□*3		
	高さ	mm	□*3, *4			
	サポート外径	mm	□	—		
	サポート厚さ	mm	□*3, *4	—		
材料		—	SUS304, SUS304TP			
個数		—	1*1	1*1		

注記*1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には個数欄に「16 (6本吊り)」、「16 (3本吊り)」と記載

*2: 電気事業法の規定に基づき, 本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*3: 公称値を示す。

*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

原子炉格納施設

沸騰水型原子力発電設備に係るものについては、次の事項

1. 原子炉格納容器に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

a. 配管貫通部

(b) ベローズなし貫通部

イ. 直結型

変更前										変更後											
種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号		
					外径*1	厚さ*2	長さ*3								外径	厚さ	長さ				
貫通部	6	1.37*4	171	スリーブ			—	STS42	X-98 X-99	変更なし	6	変更なし	200*6	変更なし	変更なし			—	—		
		0.427*4		スリーブ				STS42	X-107			変更なし			0.853*6	200*6	変更なし				
				フランジ			—	SGV49													
		平板				—	SGV49	X-214	変更なし			0.853*6			200*6	変更なし				X-214*7	
		104	スリーブ			—	STS42						X-242A X-242B	変更なし							
		スリーブ			—	STS42	変更なし														
貫通部	6	0.427*4	171	スリーブ			—	STS42	X-82A	変更なし	5*8	0.853*6	200*6	変更なし	変更なし			—			
		3.92*4		スリーブ			—	STS42	X-82B			200*6			変更なし	変更なし			X-200A*9 X-200B*9		
			104	スリーブ			—	STS42	X-200A X-200B				200*6	変更なし		変更なし					
			302	スリーブ			—	STS42	X-212A							200*6	変更なし	変更なし			
		302	スリーブ			—	STS42	X-212B	—*8, *10												
貫通部	1	0.427*4	104	スリーブ			—	STS42	X-215	変更なし	0.853*6	200*6	変更なし	変更なし							
貫通部	1	0.86*4	171	スリーブ			—	STS42	X-69	変更なし	変更なし	200*6	変更なし	変更なし							

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-4-3 原子炉格納容器貫通部の基本板厚計算書」による。

*6 : 重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*7 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*8 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*9 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器スプレイ設備（残留熱除去系（格納容器冷却モード）））と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*10 : 当該貫通部については、計装用とするため直結型から削除

ハ、計装用

変更前										変更後													
種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号				
					外径*1	厚さ*2	長さ*3								外径	厚さ	長さ						
貫通部	4	0.427*4	171	スリーブ				STS42	X-144C	変更なし	5*10	変更なし 0.853*7	変更なし 200*7	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし						
				平板			—	SUS304															
				スリーブ				STS42	X-146C														
				平板			—	SUS304															
				スリーブ				STS42	X-147														
				平板			—	SUS304															
				スリーブ				STS42	X-165														
				平板			—	SUS304															
	スリーブ			—	STS42	X-212B*9	変更なし	0.427*10	104*10									スリーブ	変更なし	変更なし		変更なし	変更なし
	—	—	—	—	—			—	0.853*7									200*7	平板*10			—	
貫通部	154	0.427*4, *8	171	スリーブ				SUS304TP	X-20A X-20B X-20C X-20D	変更なし	変更なし 0.853*7, *8	変更なし 200*7	変更なし	変更なし	変更なし	X-20A*11 X-20B*11 X-20C*11 X-20D*11							
貫通部	5	0.427*4	171	スリーブ				STS42	X-23A	変更なし	変更なし 0.853*7	変更なし 200*7	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし							
				フランジ			—	SGV49															

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-4-3 原子炉格納容器貫通部の基本板厚計算書」による。

*6 : 平板含むスリーブ長さ

*7 : 重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*8 : 外圧を示す。

*9 : 当該貫通部については、直結型であったものを計装用とするものである。

*10 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*11 : 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置の制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動水圧系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*12 : フランジ含むスリーブ長さ

3. 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(8) 原子炉格納容器調気設備に係る次の事項

(8.1) 窒素ガス制御系

ニ 主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所

		変 更 前	変 更 後
名 称 ^{*1}		AV217-4	MV217-4 ^{*2, *3}
種 類	—	止め弁	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.427 ^{*4, *5}	変更なし 0.853 ^{*6}
最 高 使 用 温 度	℃	171 ^{*4}	変更なし 200 ^{*6}
主 要 寸 法	呼 び 径 (A)	600	変更なし
	弁 箱 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上 ^{*7}
	弁 ふ た 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上 ^{*7}
材 料	弁 箱	—	<input type="text"/> ^{*3}
	弁 ふ た	—	<input type="text"/> ^{*3} <input type="text"/> ^{*3}
駆 動 方 法		—	空気作動
個 数		—	1
取 付 箇 所	系 統 名 ^{*9} (ラ イ ン 名)	—	AV217-4 (窒素ガス制御系) ^{*7}
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 23800mm ^{*7}
	溢水防護上の区画番号 ^{*9}	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ ^{*9}	—	—
			R-2F-15N EL 24040mm 以上

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系），圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*3：電気事業法の規定に基づき，本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，既工事計画書の主

配管「ドライウェルから空調換気系との取合点まで」による。

*5：S I 単位に換算したものである。

*6：重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「－」と記載。記載内容は、設計図書による。

*9：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載

		変 更 前	変 更 後
名 称 ^{*1}		AV217-5	MV217-5 ^{*2, *3}
種 類	—	止め弁	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.427 ^{*4, *5}	変更なし 0.853 ^{*6}
最 高 使 用 温 度	℃	171 ^{*4}	変更なし 200 ^{*6}
主 要 寸 法	呼 び 径 (A)	600	変更なし
	弁 箱 厚 さ mm	□以上 ^{*7}	□以上 ^{*3}
	弁 ふ た 厚 さ mm	□以上 ^{*7}	□以上 ^{*3}
材 料	弁 箱	□	□ ^{*3}
	弁 ふ た	□ ^{*8}	□ ^{*3} □ ^{*3}
駆 動 方 法		—	空気作動
個 数		—	1
取 付 箇 所	系 統 名 ^{*9} (ラ イ ン 名)	—	AV217-5 (窒素ガス制御系) ^{*7}
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 8800mm ^{*7}
	溢水防護上の区画番号 ^{*9}	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ ^{*9}	—	—
			MV217-5 (窒素ガス制御系)
			変更なし
			R-B2F-31N
			EL 8700mm 以上

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*3：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「サプレッションチェンバから「ドライウェルから空調換気系との取合点まで」の合流点まで」による。

*5：S I 単位に換算したものである。

*6：重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「一」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *9 : 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載

			変更前	変更後
名称 ^{*1}			AV217-18	MV217-18 ^{*2, *3}
種類	類	—	止め弁	変更なし
最高使用圧力	MPa	—	0.427 ^{*4, *5}	変更なし 0.853 ^{*6}
最高使用温度	℃	—	171 ^{*4}	変更なし 200 ^{*6}
主要寸法	呼び径	(A)	400	変更なし
	弁箱厚さ	mm	□以上 ^{*7}	□
	弁ふた厚さ	mm	□以上 ^{*7}	□以上 ^{*3}
材料	弁箱	—	□	□ ^{*3}
	弁ふた	—	□ ^{*8}	□ ^{*3} □ ^{*3}
駆動方法		—	空気作動	電気作動 ^{*3}
個数		—	1	変更なし
取付箇所	系統名 ^{*9} (ライン名)	—	AV217-18 (窒素ガス制御系) ^{*7}	MV217-18 (窒素ガス制御系)
	設置床	—	原子炉建物 EL 34800mm ^{*7}	変更なし
	溢水防護上の区画番号 ^{*9}	—	—	R-3F-04-1N, R-3F-04-2N, R-3F-07N, R-3F-16-1N
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ ^{*9}	—	—	EL 35380mm 以上

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

*3：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウェルから空調換気系との取合点まで」の分岐点から非常用ガス処理系との取合点まで」による。

*5：S I 単位に換算したものである。

*6：重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）

- *7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「－」と記載。記載内容は，設計図書による。
- *9：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載

ホ 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
窒素ガス 制御系	弁AV217-8B入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-8B出口ライン合流部*2	0.427*3	171	60.5	5.5*1	STPT42	窒素ガス 制御系	変更なし						
			104	60.5	5.5*1	STPT42		変更なし						
				61.1*4, *5	6.9*4, *5	S25C*4								
	ドライウエル ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*6	0.427*3	171	609.6*7	□*7(9.5*1, *7)	SM41C*7			ドライウエル ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*9	変更なし 0.853*10	変更なし 200*10	変更なし		
				/508.0*7	/□*7(9.5*1, *7)									
				609.6	□*7(9.5*1)	SM41C								
				609.6*7, *8	9.5*1, *7, *8	STPT42*7, *8								
	サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部 ～ 原子炉棟空調換気系分岐部*6	0.427*3	171	619.2	□*7(14.3*1)	SM41C			サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部 ～ 原子炉棟空調換気系分岐部*9	変更なし 0.853*10	変更なし 200*10	変更なし		
				609.6	□*7(9.5*1)	SM41C								
				609.6*7, *8	9.5*1, *7, *8	STPT42*7, *8								
	原子炉棟空調換気系分岐部 ～ 弁AV217-19*6	0.427*3	171	619.2	□*7(14.3*1)	SM41C			変更なし					
				609.6	□*7(9.5*1)	SM41C								
	サプレッションチェンバ ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*11	0.427*3	104	609.6*7	□*7(9.5*1, *7)	SM41C*7			サプレッションチェンバ ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*9	変更なし 0.853*10	変更なし 200*10	変更なし		
				/508.0*7	/□*7(9.5*1, *7)									
			171	609.6*4	□*4(9.5*1, *4)	SM400C*4								
				609.6*7, *8	9.5*1, *7, *8	STPT42*7, *8								
	原子炉棟空調換気系分岐部 ～ 弁MV217-23入口ライン分岐部*12	0.427*3	171	619.2	□*7(14.3*1)	SM41C			原子炉棟空調換気系分岐部 ～ 弁 MV217-23 入口ライン分岐部*9	変更なし 0.853*10	変更なし 200*10	変更なし		
				609.6	□*7(9.5*1)	SM41C								
609.6*7 /406.4*7				□*7(9.5*1, *7) /□*7(9.5*1, *7)	SM41C*7									
弁MV217-23入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-18*12	0.427*3	171	—			弁 MV217-23 入口ライン分岐部 ～ 弁 MV217-18*9	変更なし 0.853*10	変更なし 200*10	406.4*13 /406.4*13 /406.4	12.7*13 /12.7*13 /12.7	STPT410*13			

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス補給配管」の分岐点から「窒素ガス置換配管（サプレッションチェンバ）」の合流点まで」と記載

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ

- *6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」と記載
- *7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-5-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。
- *8 : エルボを示す。
- *9 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）と兼用（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）
- *10 : 重大事故等時における使用時の値（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載）
- *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバから「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の合流点まで」と記載
- *12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の分岐点から非常用ガス処理系との取合点まで」と記載
- *13 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

III 変更を必要とする理由を記載した書類

平成 24 年 6 月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえた工事に伴い、以下の変更を行う。

- (1) 原子炉本体のうち、燃料について、高燃焼度 8×8 燃料を用いないことから廃止する。
- (2) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材循環設備の主蒸気系主配管について、信頼性向上の観点から取替を行う。
- (3) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材循環設備の主蒸気系主配管について、主蒸気隔離弁漏えい制御系を用いないことから当該系統の撤去を行う。
- (4) 原子炉冷却系統設備のうち、残留熱除去設備の残留熱除去系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。
- (5) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材補給設備の原子炉隔離時冷却系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。
- (6) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉補機冷却設備の高圧炉心スプレイ補機海水ポンプについて、信頼性向上の観点から改造を行う。
- (7) 原子炉冷却系統設備のうち、原子炉冷却材浄化設備の原子炉浄化系主配管について、信頼性向上の観点から改造を行う。
- (8) 燃料設備のうち、使用済燃料貯蔵設備の使用済燃料プールについて、制御棒貯蔵ハンガの改造に伴い、改造（制御棒の貯蔵容量変更）を行う。
- (9) 原子炉格納施設のうち、原子炉格納容器の配管貫通部について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造を行う。
- (10) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気系主要弁について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（駆動方法変更）を行う。
- (11) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気系主配管について、重大事故等対処設備としての信頼性向上の観点から改造（接続継手追加）を行う。

IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類

当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。

島根原子力発電所第2号機
設計及び工事計画認可申請書番号
電原設第69号（平成25年12月25日）

以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号

電原設第17号（令和3年10月1日）
電原設第28号（令和3年12月22日）
電原設第43号（令和4年3月28日）
電原設第3号（令和4年5月25日）
電原設第20号（令和4年7月28日）
電原設第31号（令和4年10月31日）
電原設第38号（令和4年12月23日）
電原設第6号（令和5年6月22日）
電原設第25号（令和5年7月21日）